

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
刑事司法と福祉論	芦葉 甫	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	犯罪をした者が再び犯罪に手を染めることなく、社会の中で居場所を見つけて、その人らしい生活を維持できるようにするため、福祉の支援が必要不可欠である。社会福祉士等に対する役割の期待に応えるため、刑事司法の実情を学びつつ、いわゆる入口支援、出口支援の制度状況を学ぶ。						
到達目標	① 刑事司法の制度を把握しつつ、実務上の運用等を学ぶ。 ② 更生保護制度、医療観察制度、犯罪被害者支援などの基本的な仕組みを把握する。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション ―法律家からみて期待される福祉の専門家とは―：教科書 序章、第1章						
2	刑事司法制度：―主に刑法編―教科書 第2章						
3	刑事司法制度：―主に刑事訴訟法編―教科書 第2章						
4	少年司法制度：―主に制度編―教科書 第3章						
5	少年司法制度：―主に実務における対応―教科書 第3章						
6	更生保護制度：教科書 第4章 保護観察						
7	更生保護制度：教科書 第4章 保護観察						
8	更生保護制度：教科書 第4章 保護観察						
9	更生保護制度：教科書 第4章 更生緊急保護、仮釈放その他						
10	更生保護制度：教科書 第4章 更生緊急保護、仮釈放その他						
11	更生保護制度：教科書 第5章						
12	医療観察制度：教科書 第6章						
13	犯罪被害者支援：教科書 第7章						
14	刑事司法における福祉の役割と今後の展望：教科書 終章						
15	試験（終了後、解説）						
予習内容 復習内容	予習：テキストの該当箇所を読んでください。 復習：もう1度テキストを読み、聞きなれない法律用語、制度について自分自身でまとめる等の工夫をしてください。						
教科書	① 新・MINERVA 社会福祉士要請テキストブック⑯ 刑事司法と福祉 ② 六法（刑法、刑事訴訟法、少年法などが掲載されているものが望ましい。）						
成績評価	① 出席時における積極的な取り組み姿勢…………… 30% ② 試験 択一式及び記述式（レポート式）…………… 70%						
実務経験	2013年12月から、リベラ法律事務所（三重弁護士会）に所属。刑事事件は、少年事件も含めて、約80件近くを経験する。 授業の進捗状況等次第では、いわゆる入口支援、出口支援の現場への見学等も行いたい。						
その他 特記事項	教科書を軸に講義をします。教科書はご用意ください。						